

令和８年度 立山地区（芦峯）町政懇談会

開催日時 令和８年６月２４日(水) 午後７時～午後８時

開催場所 芦峯公民館

出席者 立山町 舟橋町長、野中副町長、佐伯土木統括監、清水総務課長、
野田建設課長、佐伯農林課長、林住民課長、那智係長
立山地区区長会 安川一雄会長
芦峯寺総代 佐伯整区長
企画政策課 瀬本課長、柳田課長補佐、森主任、山本

参加者数 26 名（うち町職員４名）

Ⅰ 挨拶

町長 挨拶

安川会長 挨拶

Ⅱ 懇談会

（Ⅰ）町からのお知らせ（住民課より説明）

①ごみ減量化のお願いと関連事業の紹介

②町営バス AI オンデマンド運行（予約型運行）実証事業の実施について

（Ⅱ）質疑応答

●AI オンデマンド運行について

運行エリアは横江までであり芦峯寺地区が入っていない。お年寄りが（五百石等に）買い物に行くときは地鉄に乗っていく。帰りに横江でバスを降りた後、地鉄に乗り換える必要がある。荷物を持っていると乗り換えが大変なので、町営バスは芦峯まできてもらえないのか。なるべく家の近くに停留所があればよい。

（住民課長）

今回の実証運行では横江までを対象エリアとしています。あくまでも町営バスであり、タクシーのようなドアツードアの運行ではありません。自宅前まで運行するものではないため、エリア内の方であっても、停留所から自宅までは歩いていただくという運用になります。ご理解をお願いいたします。

●AI オンデマンド運行について

横江から芦峯寺まで遠い。

（芦峯活性化協議会）

協議会では、昨年から千垣－芦峯間の町営バス（芦峯寺路線）の運行をしています。

－昨年、予約制の実験をしましたが、色々なトラブルがありました。その経緯やご意見も踏まえ、今年は千垣から芦峯までの往復の運行を続けることとなりました。

今後、予約運行の要望がたくさんあれば、協議会でバスの運転士等にも相談し、芦峯寺まで行くこと等も含め、みなさんのご意見をいただきながら考えていきたいと思います。

（３）地区協議事項

Ⅰ．獣害対策について

サル、イノシシ、クマが頻繁に出没し、農作物を荒らし庭を掘り起こしている。最近では、サルの集団が女性や子供を追い掛け回す事案も発生している。

クマは以前から地区周辺で見かけるが、称名滝の事案のようにクマが逃げずに襲ってくることを考えると、非常に恐怖を感じ生活に支障が出ている。

要望①：個体数を減らすよう駆除を積極的に行っていただきたい。

（農林課長）

町として、住民の安全確保・農作物の被害減少のため、有害獣罾檻を計画的に購入するなど、引き続き積極的な有害獣駆除に取り組んでいきます。

また、切れ目のない有害獣対応が取れるよう、富山県へ「狩猟期間の延長」「迅速な捕獲許可書の発行」「捕獲許可頭数の拡大」についても働きかけていきます。

要望②：山林法尻などの草藪の除去作業に支援をお願いしたい。

（農林課）

ご要望の箇所について現地確認したところ、草藪はクマが滞留しやすい環境になっていることや、民家に非常に近い場所ですので、地区住民の安全確保の観点から、町において草藪の除去作業を実施したいと考えています。

土地所有者の承諾が必要になりますので、後日、承諾書のとりまとめ等にご協力をお願いいたします。

2. 危険空き家対策について

県道沿いに廃墟と化している住宅がある。落下した瓦が近隣住宅敷地に飛散し非常に危険である。次の積雪で倒壊の恐れがあると考え。景観もよくない。

要望：強制的な解体をお願いしたい。

（建設課長）

町では「空家等対策の推進に関する特別措置法」や「立山町空家等の適切な管理及び活用に関する条例」、町独自の「空家等対策計画」に基づき、危険な空き家の所有者に対して指導や勧告を行い、所有者自ら改善していただくよう促しています。改善されないときは、場合によっては行政代執行を実施するなど、町民の安全を守り、安心した生活環境を確保するために、空き家対策を進めております。

対象の空き家については、建屋及び土地の所有者に関する相続関係等の調査を実施し、先日、所有者と面談をさせていただきました。

6月29日には、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく現地立ち入り調査を予定しております。今後は、この調査結果に応じて措置してまいります。

3. 「県道富山立山公園線芦峯寺地区」のバイパス整備

県道富山立山公園線は、富山県の重要な観光地である立山黒部アルペンルートにつながる観光道路であるが、住民にとっては重要な生活道路でもある。観光シーズンは交通量が激増して横断がままならず、大型観光バスが速度を落とさず通過し騒音が著しい上、路側を歩く際に恐怖を感じる。また、冬期には、大型バスやマイカーによる消雪水の跳ね上げが著しく、住宅前を除雪している住民は頻繁にずぶぬれになる。

要望：根本対策として、バイパスの整備をお願いしたい。

緊急対応として、減速を促す路面標示などの安全対策をお願いしたい。

（建設課長）

県道富山立山公園線は、立山黒部アルペンルートへの観光として、また、沿線地区の皆様の生活に密着した道路として多くの方が利用されています。

芦峯寺地区を迂回するバイパス整備の計画について、富山県立山土木事務所へ確認したところ、

「県道富山立山公園線は、重要な観光道路として整備が必要な箇所が数多くあり、芦峯寺地内においては、これまでも現道拡幅、歩道整備及び消雪施設の更新を進めてきたところです。芦峯寺バイパスの整備については、多額の事業費がかかることや地滑り対策等、事業化に向けて多くの課題があるものと認識しています。まずは、減速を促す路面標示などの安全対策の実施について検討します。」とのことでした。

町としても現在の交通状況を踏まえ、芦峯寺地区の大切な生活道路を守っていただきたく芦峯寺バイパスの整備及び現道の安全対策を町の重点要望としております。また、警察の方にも取り締まりの強化を要望します。

（４）意見交換

●旧あしくらスキー場のゴミについて

２年前に地区から町に要望し、町から当施設に対しゴミ撤去勧告がなされた。

一旦きれいになったが、今年の４月に当施設に行ったところ、駐車場の東側にゴミの山ができていた。５月に開催されたイベントの際は、ある程度片付けられたようだが、その後また駐車場の周りの草藪にゴミが片付けられず残っていた。

町で定期的にパトロールをして、片付けるよう勧告していただきたい。地区の中にゴミ山があることは、住民として看過できない。町から厳しく指導・対応をお願いしたい。

（住民課長）

前回（令和６年度）の町政懇談会でも地区から要望をいただき、土地の所有者や施設管理している団体に直接会い、ゴミの撤去について依頼しました。一度きれいにされたかと認識しています。今年度に入り、現状について地元から情報をいただき、写真で現状確認し、すぐに所有者に連絡しました。５月にイベントもあり、撤去されたと認識しています。

今後も、定期的な巡回・巡視、定期的な勧告が重要と考えており、所有者や施設管理している団体に対してきれいにするよう定期的に連絡し、現地も確認してまいります。

●閻魔堂と布橋の間の町道の落石について

閻魔堂から見て左斜面で落石が発生している。歩行者や車に当たる恐れがある。

（建設課長）

該当の路線は、町道芦峯寺４号線であり、現地を確認しました。何か対策できないか、富山県立山土木事務所に相談しているところです。

国・県の補助金を活用し対策したいと考えております。

（土木統括監）

斜面对策として、富山県立山土木事務所に話をしました。

芦峯寺地区には地すべりやがけ崩れなど土砂災害危険区域がたくさんあります。

県では、土砂災害危険区域について見直しをしており、他に危険なところがないか調査しています。その候補地として、公民館の裏山や遥望館の足元の崖やおんば谷の崖も挙がっており、閻魔堂の斜面もよく見てほしいとお願いしたところです。もし、土砂災害危険区域に指定されれば、がけ崩れ対策として対応できるのではないかと考えます。

落石が頻発する際の応急対策としては、下に土のうを積む等、建設課と相談しているところです。

●閻魔堂と布橋の間の町道の掃除について

強風により道路が落ち葉だらけになる。布橋灌頂会が予定されており県外のお客さんも多い。イメージが悪くならないようきれいにしておく必要があると感じる。

（建設課長）

強風の後にはパトロールしながら落ち葉の清掃をしたいと考えております。今年は特に布橋灌頂会がありますので、こちらでできる部分は対応いたします。

●民生委員の活動について

今年の冬、孤独死されたお年寄り方がいた。

安否確認は大切であるが、お年寄りが増えると民生委員の活動も増える。広い地区なので労力も時間もかかるが、民生委員の手当が安いと感じる。特に雪が降った時は、数日に1度は巡回してもらえよう、手当を増額することはできないか。

（町長）

民生委員は厚生労働大臣から委嘱されるものであり、ボランティアで活動していただいています。県と町からガソリン代等費用弁償を支払いしていますが、仕事量が多く申し訳なく思っております。地区によっては、なり手不足の問題もあります。

近々民生委員幹部の方との懇談会があるので、情報交換をしたいと思います。

手当額を上げることができるのか、県の厚生部を通じて他県の情報も収集したいと思います。

しばらく電気の使用がない場合は電力会社に通報が入るなどの仕組みも活用でき

る可能性があります。

各戸を回って声をかけることも重要であり、調査させていただきたい。

3 閉会

平井議長 挨拶

後藤議員 挨拶

終了